

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、  
郷野小学校6年生 土本夏実さんです。



唯称庵跡のカエデ林・  
県指定天然記念物

文政6年(1823年)庵主が京都より取り寄せたイロハモミジ。見事な景観で学術的な価値も高い。

## 第11号 9月定例会

**たびかさなる**  
**災害** ..... 2

健康あきたかた**21**の  
策定は ..... 4

第**2庁**舎建設中 ..... 7

一般質問  
**12名**が問う ..... 8  
—男女共同参画の現状は—

ぼくの**夢**・わたしの**夢** ..... 14

**地**域のかがやき ..... 18

2006(平成18)年10月31日発行



# 災害

9月の集中豪雨により被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます

緊急対応分  
災害復旧費  
1億1,000万円



## 国・県に早期対応を要望!

9月定例会は9月13日から10月2日までの20日間を会期として開かれた。各会計補正予算、安芸高田市保育所条例の一部改正など18議案、発議案3件、水道事業決算の認定1件、専決処分1件、閉会中の継続審査1件を原案どおり可

決して閉会した。定例会最終日には、台風13号関連の集中豪雨災害復旧費の議案が上程され、生活道の緊急復旧の必要性等多数の意見があった。一般質問では12名が施政を問った。

(担当 秋田雅朝)

## 主な補正予算

- 八千代タウン開発(株)解散、清算に伴う資産承継に係る財産取得費 500万円  
(市の継承する資産鉄骨3階建の建物及び土地 八千代町フォルテ) 無線アクセス整備に伴う中継局の増設 1,500万円
- 障害者施設の活性化支援事業、障害者福祉計画策定委託費 355万円
- 小型合併処理浄化槽負担金補助15基分 1,008万円
- 農業用機械導入補助金 900万円
- 有害鳥獣防護柵の設置補助金 350万円
- ほととぎす遊園屋根補修、郡山公園参道整備 293万円
- 市道道路維持費 3,339万円
- 分駐所整備改築工事 615万円
- 郡山城が日本100選になった関係の記念碑と史跡案内看板整備工事費 512万円
- 7月災害関連復旧費 農地災害11件 農業用施設災害6件 道路災害5箇所 河川災害7箇所 1億2,318万円
- 9月集中豪雨関連災害復旧費 農林水産施設 600万円 土木施設 9,900万円 公共施設 500万円 1億1,000万円

安倍総理へ

## 意見書提出

### ◎ 高金利引き下げに 関する請願を採択

平成16年度7,947人の人々が経済的な理由で自殺している。これらの破産、自殺の直接の原因は、多重債務問題が最大の要因で、貸金業者の高金利による過剰融資であることは明らかである。よって出資法の上限金利を利息制限法の制限金利まで引き下げることがを要望した。

### ◎ 次期定数改善計画の実施と 義務教育費国庫負担制度の堅持

政府は公務員の総人件費改革実行計画のなかで特に教職員の人件費削減を求めている。教育予算は未来の先行投資であり、子どもたちが等しく良質な教育が受けられることは、憲法によって保障されている。よって、義務教育費国庫負担率を2分の1への復元を強く求めた。

### ◎ 公共工事における建設労働者の 適正な労働条件の確保を

建設業を健全に発展させ、工事における安全や品質の確保とともに、雇用の安定や技能労働者の育成を図るために、公共工事における新たなルールづくりを要望した。



人権擁護委員  
の推薦

古屋田 武さん  
(68)  
八千代町

# たびかさなる

被害総額

約

25 億円

## こんなことが決まりました。

出産育児一時金35万円に引き上げ

健康保険法等の一部改正により出産育児一時金が30万円から35万円に改正された。  
(18・10・1施行)

◎安芸高田市消防署・北部分駐所開設に伴う救急補助員の報酬を月額20万円とした。  
(18・10・16施行)

◎19年4月から開園される安芸高田市立「みつや保育所」の管理を指定管理者制度で運営する。  
(19・4・1施行)

(19・4・1施行)

## 平成17年度 水道決算を認定

審査意見

水道料金未収金は、給水停止などの措置により回収に努力されている。課題として各町の水道料金に格差があり、適正料金で早期統一を要望した。

# 行政評価システム の導入は

## 補助金の全面見直し

委員会で、行財政改革を  
中心に3回調査した。

総務企画委員長 熊高昌三

18年度は「補助金審査  
検討委員会」を設置し、  
7月に補助金全体プラ  
ンの答申、10月には19  
年度分の答申を受けた  
うえで、一定の方向を  
示す予定です。

19年度からの事務  
事業評価の完全実施  
に向け、18年度から  
一部の事業を対象に  
試行導入します。ま  
た、導入にあたり『行  
政評価システム研究  
会』を立ち上げ、月  
1回以上のペースで  
研究・検討を進めて  
います。

## 行政評価システム 導入状況は

5月の嘱託員会議  
で、「防犯灯は地元で  
維持管理」をお願い  
し、道路照明は市で、  
施設灯は施設管理者  
で維持管理をするよ  
うお願いしました。  
しかし旧町での設置・

## 防犯灯の維持管理は

管理方法に色々なパ  
ターンがあるため防  
犯灯の定義づけに時  
間を要しています。  
現在、道路照明の細  
部について精査をし  
ており、19年度の実  
施を目指しています。

なお、防犯灯の設  
置については補助制  
度を利用していただ  
き、管理、負担につ  
いては、地元にお願  
いをしていきたいと  
考えています。



防犯灯の使用料の統一を

## 職員の駐車有料化は

19年度からの駐車  
有料化に向け、金額  
など現在検討中です。

(担当 玉川祐光)

# 健康あきたかた21の策定は

## 計画策定の趣旨

市民一人ひとりが「栄養・運動・  
休養」のバランスのとれた生活習慣

を身につけ、主体的な健康づくりを  
努めていけるよう、  
市民とともに考え、

その意見を反映した  
「健康あきたかた21」  
計画が策定されます。

## Q 国県からの 財政措置は

A 財政措置はない  
が、県から職員  
をオプザーバーとし  
て派遣するといった

# 障害児の福祉・医療サービスの 自己負担軽減等を求める請願

## 請願の趣旨

障害者自立支援法  
による負担制度の抜  
本的な改善の要望

# 災害復旧を早急に

台風13号関連の集中豪雨(9/16~17)による被災地の状況を現地調査しました。現段階では、復旧は応急処置にとどまっているが、今後、国庫補助事業等による予算要求し、本格的な復旧工事に入る見通しです。

委員会では、早急な対応を求めるなかで、次の災害に耐えることのできる強度をもった復旧工事を要望しました。

産業建設委員長 渡辺義則



吉田町郡山



八千代町佐々井



八千代町土師



稼動をはじめたアグリフーズ

「加工工場を産地へ」  
画期的な発想で、農業の振興、地域の活

性化、食の未来を期待しています。  
(担当 金行哲昭)

祝

安芸高田アグリフーズ(株)が

竣工 9月25日

委員会では、所管事務調査と9月定例会の付託案件の審議を行った。

文教厚生委員長 今村義照

## 計画の策定体制

計画の策定は「計画策定委員会」が中心となり、「庁内検討委員会」と連携を図りながら行われます。

## 「計画」の工程

計画策定委員会、庁内検討委員会それぞれ委員会を5回開催し、2月下旬には計画の推進に向けた検討を予定しています。

側面的な支援がある。また、計画を策定した後、計画を実践していく段階になるが、国庫の補助金がある事項については補助金を導入します。

## 継続審査

行政の施策によって格差が生じ、また、当事者・家族にとっては、厳しい負担の多い制度であるので、県・近隣市の動向、財政面、障害児の悩み、格差の

問題等について、閉会中も継続して審査することに決定しました。  
(担当 青原敏治)



## 吉田少年自然の家調査特別委員会



### 2億3,000万円 県と交渉へ

現況視察調査を行い、施設の現状の問題点・課題を把握したうえで、執行部から提案された施設利活用、リニューアル構想を了承した。

リニューアル内容、経費の概算が提示され、維持管理費・運営費の概算と合わせて審議した。

委員長 赤川 三郎

#### 維持管理費（年間）試算

利用収入	580万円
維持管理費	2,170万円
市の負担額	1,590万円

#### 審査意見

市の負担額が年間1,590万円必要であるが、地域の要望・青少年教育への投資額としては「やむを得ない」との意見が多数を占めた。

#### 課題

リニューアル予算額2億3,000万円は、県と交渉し、再度、今後の施設のあり方を検討する。

#### リニューアル構想

1. 施設の基本水準の維持・更新
2. 質の高いサービス提供のための機能・設備の整備
3. 野外炊飯場の整備水準アップ
4. 体育館の解体
5. キャンプ場・冒険の国の廃止
6. 宿泊定員の縮小（現在の200人規模から100人規模に）

## 第3セクター等調査特別委員会

5回の委員会において「八千代タウン開発の私的整理は、12月1日、市へ所有権移転の方向で」との報告を受けました。

委員長 熊高 昌三

「八千代タウン開発」の私的整理は、第5回（8/7）委員会において「駐車場用地を含め施設全体を500万円で購入、12月1日所有権移転の方向で」との報告を受け、審査の結果了承しました。

また、本市には、旧町時代に設置された第3セクターが8組織あり、それぞれ現在運営されています。

今後、経営状況については、石橋公認会計士による指摘事項（第3セクター等経営健全化計画）を参考にして全市的



第3セクターは全市的な視点で（虹の農場）

な視点で、地域貢献や経済的独立性を含め、経営が健全化に向かっていくか調査していきます。

（担当 山本三郎）

## 第2庁舎・総合文化保健福祉施設建設調査特別委員会

現在、建設中の第2庁舎・総合文化保健福祉施設の、工事進捗状況、今後のスケジュール等について執行部から説明を受けました。

工事は工程どおり順調に進んでいます。10月末までには、各部署内の机等の配置、コンセント位置などの細部レイアウトを確定させ、その後工事に入る予定です。

委員長 藤井昌之

**Q** 現在の第1分庁舎に設置が予定されている保健センターの設計や改修時期は。

**A** 18年度中にセンターの具体的な使い方を決定し、19年度に実施設計を行い、現在第1分庁舎に入っている施設が新庁舎に移転後、改修工事に入る計画です。

## 工事の進捗状況



工事前



5月



6月



8月



10月



10月





松村ユキミ  
〈新政会〉

## 男女共同参画の現状は 市長／女性の登用を積極的に

**松村** 本市の男女共同参画の促進状況と今後は。

**市長** 7重点事業の中でまず啓発事業として市内6地区を巡回する「リレーイベント」の開催を考えています。その他具

体的な実施方針、内容、体制等逐次取り組みます。

**松村** 各委員会、審議会に於ける女性登用の現状は。

**市長** 本市の重点課題のひとつであり「定

数別導入事業」として女性委員を定数の半数5割とすること

を基本目標としており、今後改選期を迎えるもの及び新規委託するものについても積極的に取り組んでいきます。

## 子育て環境整備で 公園設置を

**松村** 子育て環境整備としての公園設置の考えは。

**市長** 公園の設置については新たな場所の確保は困難な状況にあり、既存の公有地や公共施設を有効利用しての環境整備は検討させていただきまます。なお現在保育所の園庭開放、また現在建設中の総合文化施設の中に「子育て支援センター」を新たに設置し、子育て支援、サポート体制を整備します。



子育て環境に公園を

# う 問 が

## 下水道の早期完成を 市長／地域に適した整備手法で



田中常洋  
〈政友会〉

**田中** 下水道事業の整備率の低いところには優先して予算配分をし、早期に全市の完全整備を願うが。

**市長** 旧町の地域に見合った整備手法により事業を進めています。各処理区での整備率にバラツキもあり、また財政難のなか、整備ペースも

遅れているのが実情です。財政が許される範囲で事業を進め、整備完了地区の加入率向上を図り、歳入確保に努めます。



現在建設中の下水処理場（八千代町）



**今村** 避難について。  
**市長** 今後は地域防災計画にもとづき発令判断基準を設定するとともに、避難勧告などの情報伝達マニュアルを作成し、関



**今村義照**  
〈あきの会〉

## 風水害危機の安全確保は

### 市長／対応マニュアルの策定

係部局、地元の自主防災組織や振興会と連携協力を得て支援体制プランを作成します。

**今村** 施設の安全確保は。

**市長** ある程度、長期に滞在することを想定し、基幹集会所や学校を考え、危険箇所にある施設の見直しを進め、安全確保を第一に考え、開設施設の運営マニュアルを整えます。

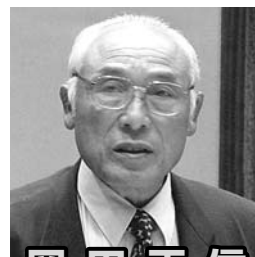
**今村** 水道の確保は。

**市長** 自然災害以外にも、漏水事故や水質汚染事故の発生も想定されるので、事故の対応マニュアルの策定について現在検討しています。



各方面で圃場に災害

# 12名



**岡田正信**  
〈日本共産党の会〉

**「安芸高田市人権協議会」への補助金に問題ないか**  
**市長／団体補助金に問題なし**

**岡田** 「部落解放同盟安芸高田市協議会」の団体名が変わったが、当初予算の執行には問題はないのか。

**市長** 去る6月30日

臨時総会で「安芸高田市人権協会」として名称変更し、「部落解放同盟広島県連合会」から脱会した事が7月3日付で届けられました。従前の運動方針と何ら変更ないと認識しております。団体補助金についても問題はありませぬ。

**岡田** 団体補助金として800万円を予算計上した当初は、「部落解放同盟安芸

高田市協議会」であった。上部団体は脱会を認めていないので、新たに運動団体が生まれたらどうしようにされるのか。

**市長** 新しい「安芸高田市人権協会」というのは今までの部落解放同盟がそのまま名前を変えたと考えていますし、運動方針も変えていません。しかし県連が認めないので第2組合が生まれるという恐れはありますが、その組織は対象にしないと考えています。

# 新市建設計画は大丈夫か

市長／基本計画の後半で



**山本三郎**  
〈政友会〉

**山本** 安芸高田市の財政状況の厳しい中で、新規事業の実施などにより新市建設計画が危惧されるが向原町の生涯学習センター建設は。

**市長** 向原町の生涯学習センターは、安芸高田市総合計画の後半で財政状況を勘案しながら検討をします。新規事業での箱物の建設は当分凍結を考えています。市の実質公債比率が18%を超えない行政運営が肝要ととらえています。



生涯学習センターは（向原町公民館）

## 農外企業の参入を

市長／地域の農地は地域で



**秋田雅朝**  
〈政友会〉

**秋田** 農道整備について県の基本方針の地域外等実施ができ

ない地域が出てくると思うが。  
**市長** 県は18年度から担い手に特定して事業の採択を行っており、市は県に財政事情の範囲で予算配分を受け独自の予算執行が出来るよう要

## 農外企業の参入を

望し、補助制度の活用を基本に取り組みたいと思います。

**秋田** 本県では新たな担い手確保とし重要施策とされているが。

**市長** 本市の農業は、集落法人や営農組織、大規模農家など多様な農業経営が行われており、農外企業の参入については、地

域との緊密な連携のもと推進したいと考えています。

**秋田** 耕作放棄地減少への具体的施策は、放牧地利用・市民農園整備拡充等の全体的な農地有効利用施策が必要と思うが。

**市長** 集落営農のシステムづくりを進め、地域の力で良好な農地、集落環境が保全されるよう推進していきます。



なくそう 荒廃地



**金行** 職員の健康保持増進を図るため「労働安全衛生法」に基づく職員の定期健康診断の実施後の措置、健康指導等を確実に実施する必要は。



**金行 哲昭**  
〈政友会〉

## 職員の健康管理は

市長／健康指導は確実に

**市長** 「衛生委員会」を設置し、職場の巡視点検、過重労働対策など取り組んでいきます。また職員への保健指導は確実に行っていきます。

### もっと総合健診を

**金行** 医療費削減につながる総合健診を必要と考えるが、全額助成の制度は続けていけるのか。

**市長** 発病予防に重点を置き、そのためにも総合健診は必要です。70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯、国民健康保険の被保険者は全額補助します。

### いいのか

### 新型交付税

**金行** 19年度より導入の人口、面積を基本に配分される新型交付税をどう考えているのか。

**市長** 長期的には、一定規模以上の自治体の半分が不交付となる計画であり、地方交付税は近い将来

大幅に減額すると予想されます。対応策としては市の行財政改革の更なる促進による経費節減による財源の確保がとり得る唯一の手段と考えています。



健康づくりは軽スポーツで

**入本** 道路整備で福祉・地域交流・交通事故・若者定住・観光・子どもの安全・救急医療体制等が解消されると思うが状況は。

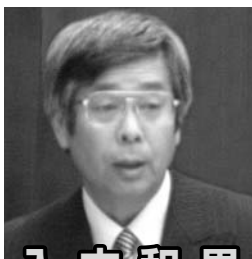
**市長** 国道54号線の歩道整備事業は、18年度は八千代町佐々井・下根地区が計画されています。

**市道整備**は、地域拠点相互の連結道及び地域内の円滑な連絡の確保のため旧町からの連結道路線を

## 道路の整備で

## 安心安全を

市長／各支所を結ぶ整備を



**入本 和男**  
〈あきの会〉

中心に整備を進めており、市道延長約800kmの内450kmは改良済となつています。

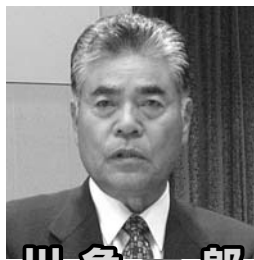
**県道整備**は、改良・交通安全施設の16路線が計画されています。

**国道整備**は、可部バイパスが早ければ数年で上根の下まで開通できるのではないかと聞いています。

**今後**、主要幹線道路や各支所等を結ぶ道路については十分な整備をされているとは言えず、一層の促進が必要です。

# 職員教育は

## 市長／懲戒処分基準の基準を検討



川角 一郎  
〈新政会〉

**川角** 全国的に最近公務員による不祥事が多いが、職員教育は。  
**市長** 職員は、市民の奉仕者として、誠実かつ公正な職務、職員としての責務、道路交通法の遵守等について規定を定め、適宜指導を行っています。職員が不祥事を起こした場合の「懲戒処分基準」についても現在検討しています。

## 農業振興について

**川角** 品目横断的経営安定対策について、担い手の育成と該当しない農家の対応策は。  
**市長** 担い手の育成や、該当しない農家の対策についても、集落



活力の出る農業施策を

営農を促進する中で対応していきます。

## 農地の保全について

**川角** 荒廃地が年々固定化しているが、行政・農業委員会の対策は。  
**市長** 農業委員会でも、現地パトロールを実施中で、今後地域ぐるみで取り組む仕組みづくりを促進します。

# 役所窓口サービスの向上は

## 市長／土・日業務を検討



明木 一悦  
〈あきの会〉

**明木** 市役所の窓口サービス対応時間延長及び週末の取り扱いで市民サービス向上を。  
**市長** 平日の時間延長、土日祝日の市役所窓口業務サービスは第2庁舎完成の19年8月末から本庁で対応していく方針で、現在検討中です。  
**明木** 郵便局やコンビニの活用で窓口サービスの拡大を。  
**市長** 郵便局などにおける一定の市役所窓口サービスの取扱

は、1箇所を整備に約600万円の投資を要するので、地域の必要性があるところから納税等を含む窓口サービスを検討していきます。

## の向上は

ついて、顔をつき合わせて意見をもらう方がよいと考えていますが、全国的動向としてパブリックコメントを受け入れる自治体が増えてきているので、導入に向けて検討を行ってみたい。

## 市立図書館の

### 充実

**明木** 専門的知識のある館長を市立吉田図書館に。  
**教育長** 専門館長は昨年から探しているがまだ見つからないので、引き続き県立図書館に協力を求めて早急に館長を置きたいと思えます。

**明木** 19年度に5万冊の図書準備を。  
**教育長** 財政難でもあり19年度は80%の4万冊をそろえる予定です。23年度には5万冊をそろえます。

## パブリックコメント

行政の政策立案過程で、住民の意見を聞き意思決定に反映させる制度。行政が実施しようとする政策についてホームページなどを通じて素案を公表し、住民の意見を採取するものです。





杉原 洋  
〈新政会〉

# 分駐所の運用体制は

## 市長／厳しい財政状況



分駐所はJAたかた北支所を活用（美土里）

**杉原** 分駐所の運用体制は勤務時間が1日6時間、土・日・祝日・年末年始は本署対応だが、関係住民の負託に応えられるのか。

**プールは安全か**  
**杉原** 「公営プール」の安全管理指導は徹底をしているのか。  
**教育長** 業者には排水溝の蓋を固定しているポルト等緩みがないかの点検監視体制を十分図り、安全確保のための指導をしています。

**熊高** 個人情報保護法の適正な理解の周知と活用を。  
**市長** 「個人情報保護条例」を制定し、「過敏な」取扱いによる混乱を防ぐため、「守るべき情報」と「利用できる情報」の整理をして、「制度の趣旨」内容を市民へ広く周知していきます。

**熊高** 住民基本台帳ネットワークシステムの活用状況は。  
**市長** このネットワークを通じ、行政手続きが即時に行われ、年金受給者現況届や、旅券申請等で住民票添付が不要など有意義な制度とし、今後さらに市民に広報していきます。



熊高昌三  
〈あきの会〉

# 新たな制度の活用は

## 市長／効率的な組織機構に

### 子育て支援の

### 充実を

**熊高** 児童館、放課後児童クラブに、より公正で効果的な、安芸高田市独自の制度を設けてはどうか。  
**教育長** 文部科学省と厚生労働省が連携し、「放課後子どもプラン」の新制度が考えられており、そこらも合わせ検討していきます。又、地域の皆さんやボランティアの力も活用する等、様々な方法も検討していきます。



# 地域のかがやき

**吉田**

楽しい運動会  
振興会と小学校



郷野小学校で合同運動会 9月24日

**八千代**

緑が憩の空間に  
やぶらんを植樹

(八千代支所前)



刈田小6年生全員で 10月30日

**美土里**

第19回  
桑田滝ヶ谷夏祭り



やまめのつかみ取り 8月14日

**高宮**

たかみや少年少女合唱団  
懐かしい「わらべうた」など  
9曲を熱唱!



田園パラッツォ  
けんみん文化祭ひろしま'06にて 10月15日

**甲田**

先輩への感謝のつどい



甲立振興会 10月12日

**向原**

運動会でさわやかな汗  
220人参加



戸島振興会 10月1日

編  
集  
後  
記

9月の集中豪雨により被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

台風に限らず自然環境や政策に大きく左右されるものに農業があります。19年度から国は認定農業者や集落営農組織を中心に支援し、日本の農業を維持していく政策に大転換します。

議会は、国の支援が受けられない小規模でも意欲のある農家には、農産物販売支援などの政策を市に求めています。(加藤英伸)

〈議会広報特別委員会〉

議長 松浦利貞

◎入本和男 青原敏治

○加藤英伸 赤川三郎

玉川祐光 田中常洋

山本三郎 秋田雅朝

金行哲昭

●次の定例会は12月の予定です。お気軽に傍聴してください。  
お問い合わせは議会事務局(☎0826-42-5621・有線2607-03)までお願いします。